

令和2年度公共事業事後評価

農地防災事業 江尾江川地区

経済産業部 農地局 農地保全課

1

位置図／事業概要



施工箇所：富士市
受益面積：107.8ha
工期：平成13年度
～平成26年度
事業費：1,691百万円
事業内容：排水機場2箇所
調整池2箇所



古写真「胸まで埋もれての田植え」(昭和初期) 富士市立博物館収蔵資料

明治～昭和初期の浮島沼

1 事業の目的・必要性

排水機場、調整池の整備

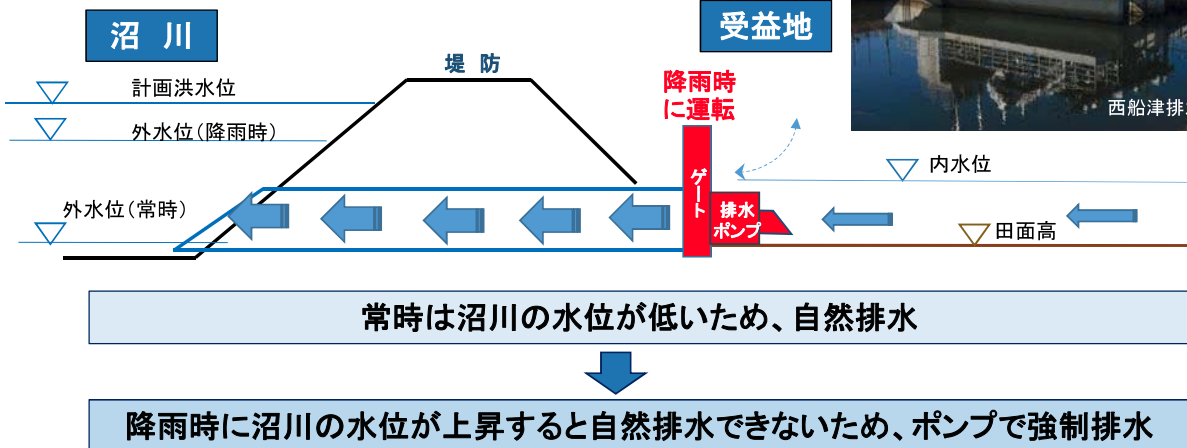
湛水時間を短縮

農作物等の被害を軽減

1) 排水機場の役割

ゲートポンプ形式

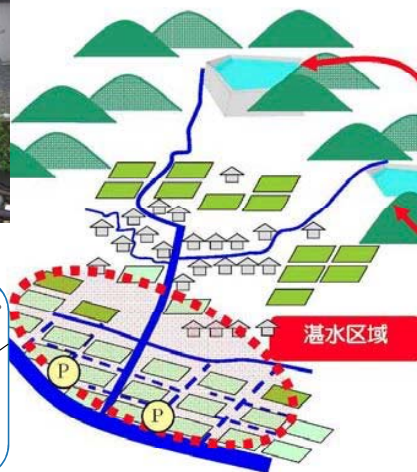
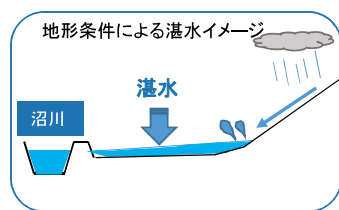
逆流を防止するゲートと湛水を強制排水するポンプが一体となった構造。維持管理が容易で、小排水量の場合は従来形式よりも経済的。



2) 調整池の役割

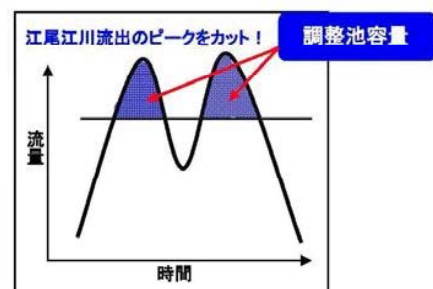


降雨時の江尾江川



江尾江川上流調整池

調整池による流量調整



江尾江川上流に調整池を設置し、一時的に流出のピークをカット。
沼川が水位低下し、排水ポンプで強制排水できるまでの時間を稼ぐ。

2 施設の利用状況や被害軽減効果等

	事業費	事業期間	施設の利用状況や被害軽減効果等
前回	1,701百万円 (H23再評価時)	平成13年度～平成26年度	農業持続的発展効果 年総効果額 148,765千円
事後	1,691百万円	平成13年度～平成26年度	農業持続的発展効果 年総効果額 194,798千円
差	10百万円 (0.6%減)	—	年総効果額 46,033千円 (30.9%増)

農業持続的発展効果：

事業実施により、湛水による農作物や農業用施設の被害が軽減される効果。

効果の増は、単収および単価の増減に伴う変動

5

3 事業の効果の発現状況

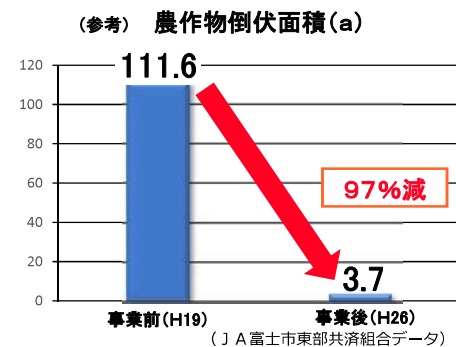
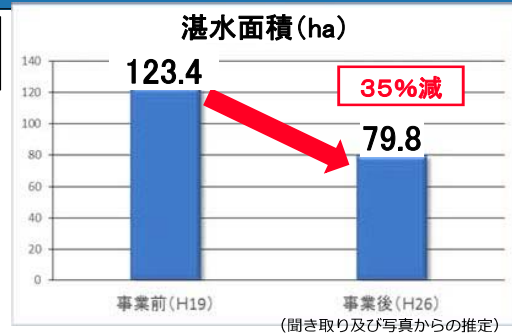
1) 農地、農業用施設被害の防止軽減の効果

比較対象とした降雨の状況

雨量(mm)	排水計画降雨 1/20	H19.7 台風4号 (事業前)	H26.10 台風18号 (事業後)
時間雨量	69.6	49	60
総雨量	352.6	339	344



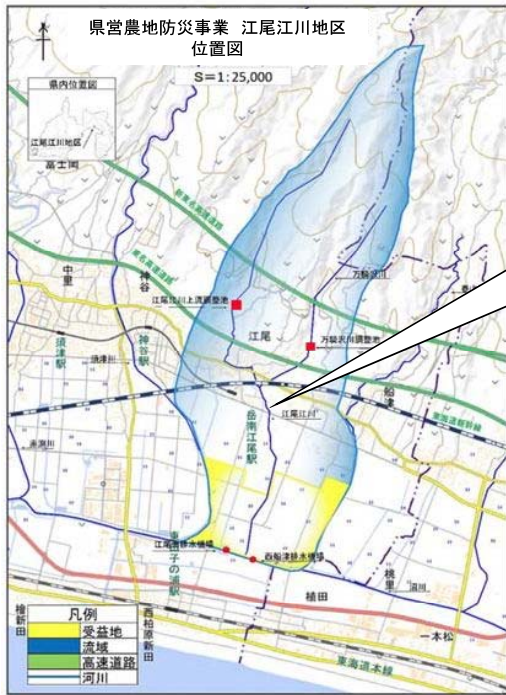
湛水による被害が軽減



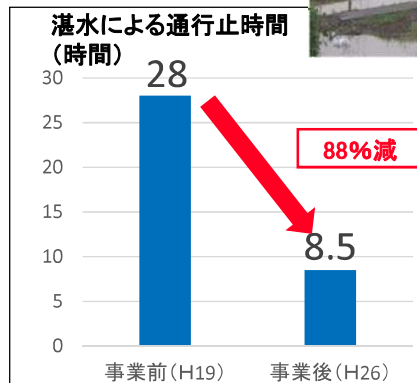
農業用施設被害
計画降雨により想定される農業施設の被害

農道	5.4km	➡ R1まで被害なし
排水路	5.4km	

2) 一般被害の防止軽減の効果



市道吉原沼津線 H19.7 台風4号の湛水状況



富士市道路維持課 取りまとめ資料

4 事業実施による環境の変化

農山漁村の生活環境について

安全・安心に
営農できるよう
なったこと
で



地域活動
(ふじのくに美里プロジェクト)
も活発に実施



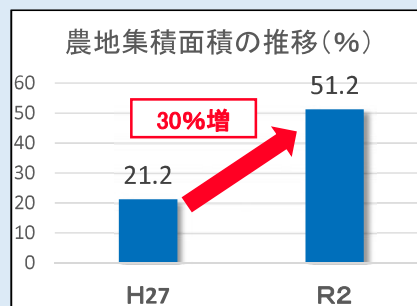
5 社会経済情勢等の変化

地域社会の動向

住宅地における世帯数の増加 (浮島地区: H13 522世帯 → R1 583世帯)

地域経済の動向

人・農地プランの策定に
よる農地集積の加速化が
期待される



6 対応方針（案）

評価結果

ポンプによる排水能力が増強



事業実施前のような広範囲の被害はなく、
営農や生活環境が向上



事業効果は発現しており改善措置の必要はない

今後の課題等

○関係機関と連携した役割分担と施設の適正な管理

同種事業への反映等

○地域住民の理解と関心の高まり

○維持管理の容易なポンプゲート形式への更新促進

9